

第50回滋賀県芸術文化祭

第70回滋賀県文学祭作品募集要項



主催 滋賀県 滋賀県教育委員会
滋賀県芸術文化祭実行委員会
(公財)びわ湖芸術文化財団
滋賀文学会

後援 朝日新聞大津総局 京都新聞 産経新聞社 中日新聞社
日本経済新聞社大津支局 毎日新聞大津支局
読売新聞大津支局 共同通信社大津支局 時事通信社
KBS京都 NHK大津放送局 **びわ湖放送**
radio

滋賀県文学祭は、文学に関する日ごろの創作活動の成果を発表していただくため毎年開催しており、本年第70回を迎えます。この文学祭に、あなたの創造的、意欲的な作品をぜひ応募してください。

■応募受付期間

令和2年7月1日(水)～8月31日(月) [当日消印有効]

■応募規定

- (1) 作品 いずれの部門も、他のコンクール・同人誌・新聞等に未発表の、応募者本人による作品に限ります。盗作・類似(類想)作品の存在・二重投稿が明らかになった場合は、賞の発表後でもこれを取り消すことがあります。

応募作品の部門・数・題は、次のとおりです。

小説：1人1篇 400字詰原稿用紙40枚以上50枚以内 戯曲・脚本を含む

随筆：1人1篇 400字詰原稿用紙5枚

詩：1人1篇 400字詰原稿用紙3枚以内

作詞：1人2篇以内 1篇につき400字詰原稿用紙2枚以内

短歌：1人3首

俳句：1人3句 四季雑詠

川柳：1人3句 題「線」「届く」 選題自由

冠句：1人3句 題「橋を行く」「^{つぶや}眩く日」「^{ちからおび}力帯」 選題自由

- (2) 応募資格 滋賀県内に在住、通勤または通学している方、または応募部門にかかる滋賀県内の文学団体に所属している方。(中学生以下は除きます。)

(3) 応募方法

- ① 「第70回滋賀県文学祭参加申込書」に必要事項を記入の上、応募作品1部門につき1枚の「参加申込書」を添付してください。

② ◇小説・随筆・詩・作詞部門

パソコン原稿の場合は、A4判横長用紙に20字×20行の縦書きで印字してください。

原稿には、1行目に題名を記入し、氏名は記入しないでください。

◇短歌・俳句・川柳・冠句部門

別紙「参加申込書」の原稿用紙を使用してください。

記入については「申込書」の注意事項にしたがってください。

- (4) 応募料 1部門につき1,200円です。(内訳：作品出品手数料 660円、入賞作品集作成費等 540円) [ただし、令和2年4月1日時点において18歳未満の方については、減免申請により500円になります。(内訳：作品出品手数料 330円、入賞作品集作成費等 170円)。参加申込書の減免申請欄に記入いただき申請してください。]

郵便局より別添振込用紙、郵便小為替または現金書留にて、納入してください。

口座番号：00910-3-236794 加入者名：滋賀県文学祭

- (5) 応募先 滋賀県芸術文化祭実行委員会事務局

〒520-0806 大津市打出浜15-1

(公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部 滋賀県文学祭担当宛

(封筒の宛名面に「朱書き」で応募部門すべてを書いてください。)

■ 審 査

次の選者により審査を行い、入賞作品、入選作品を決定します。

《選者》(五十音順・敬称略)

小 説	：井上 次雄	小野 栄吉	宮崎 真弓						
随 筆	：岡本 光夫	長 朔男	古道紀美子						
詩	：北原 千代	篠原 ゆう	苗村 吉昭	森 哲弥					
作 詞	：伊藤かおる	粕渕 宏昭	野崎 稔						
短 歌	：宇野 幸男	木村 光子	西村 考史	前川登代子	宮本 照男				
俳 句	：石倉 政苑	板倉ちえ子	杉中 花友	住谷 友志	古川 武人	山方 曙			
川 柳	：笠川 嘉一	小梶 忠雄	徳田 孝子	徳永 政二	峯 裕見子				
冠 句	：小森 和美	中西 野鶴	藤本 淡雪	山中 流石					

■ 発表および表彰

(1) 賞

芸術文化祭賞 各部門1点(副賞 小説部門 100,000円、その他 50,000円)

芸術文化祭50回記念賞 全部門通して1点(副賞 50,000円)

特 選 総数53点(副賞 20,000円)

入 選 総数93点 奨励賞(30歳以下対象)数点

(2) 結果通知

審査結果は、令和2年11月上旬に、直接ハガキで応募者あて通知します。

(3) 作品集

滋賀県文学祭入賞作品集『滋賀文学』は、令和3年3月上旬、応募者全員に送付します。

■ 表彰式および文芸講演会

(1) 日時・会場

日 時：令和2年11月23日(月・祝) 午後1時～4時30分

会 場：滋賀県立男女共同参画センター(近江八幡市鷹飼町80-4)

(JR近江八幡駅南口より東へ徒歩約10分)

(2) 日 程

◇文芸講演会(参加無料)

演 題 「白洲正子と歩く琵琶湖—未来への視線を読み解く—」

講 師 NPO法人歴史資源開発機構ヘリテージマイスター 大沼 芳幸 氏

元滋賀県立安土城考古博物館副館長

◇表 彰 式

◇懇 談 会 選者と参加者により各部門ごとに開催

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、表彰式および文芸講演会等は中止になる場合があります。ご来場にあたっては、びわ湖芸術文化財団のお電話(077-523-7146)や、ホームページ(<https://www.biwako-arts.or.jp/rd/>)で事前の確認をお願いします。

■ そ の 他

(1) 応募された原稿は返却しません。

(2) 応募作品の著作権は、応募者に帰属するものとしますが、主催者は、広報などに必要な場合は、応募作品を使用できるものとします。

(3) 参加申込書に記載の個人情報については、結果通知等のご案内に使用させていただきます。また、入賞、入選者については、個人情報の一部を作品集『滋賀文学』、表彰式での配布物、ホームページ等に掲載するほか、報道機関、印刷会社を含めた関係者へも提供することとなりますので、ご承諾のうえご応募ください。

(4) この「募集要項」、「参加申込書」は、(公財)びわ湖芸術文化財団、滋賀県文化芸術振興課、市町教育委員会、公民館等に置いています。また、ホームページからダウンロードすることもできます。

https://www.biwako-arts.or.jp/rd/about/shiga_art/

■ 問い合わせ先

(公財)びわ湖芸術文化財団 地域創造部 滋賀県文学祭担当宛

〒520-0806 大津市打出浜15-1 TEL.077-523-7146 FAX.077-523-7147

(火曜日および8月13日～18日休館)

